

水道施設概要書

1 ニタ子送水ポンプ場

(1) 施設能力・設備

施設	<p>県水を受水するための施設で、ここから広畑配水場と城山配水場に送水しています。</p> <p>配水池容量 4,000 m³ RC構造</p> <p>建物 地下1階地上2階</p> <p>地下1階 ポンプ室 地上1階 自家発電室</p> <p>地上2階 電気室</p>
電気設備	<p>高圧受変電設備、自家発電設備(ガスタービン750KVA)、ポンプ動力設備、監視計装設備、遠隔監視制御設備等</p>
機械設備	<p>送水ポンプ(150KW×3台 容量毎分14 m³/台)</p> <p>送水ポンプ(75KW×2台 容量毎分7 m³/台)</p> <p>水運用状況(平成25年実績)</p> <p>県水送水(広畑配水場及び城山配水場) 13,456 m³/日</p>
耐震診断結果	<p>建設年度が比較的新しい施設であり、劣化による耐震強度の低下は見受けられませんでした。建設における耐震基準は、新基準で建設していますので、耐震診断の結果は、良好であり、問題ありませんでした。</p>

(2) 竣工年

平成11年

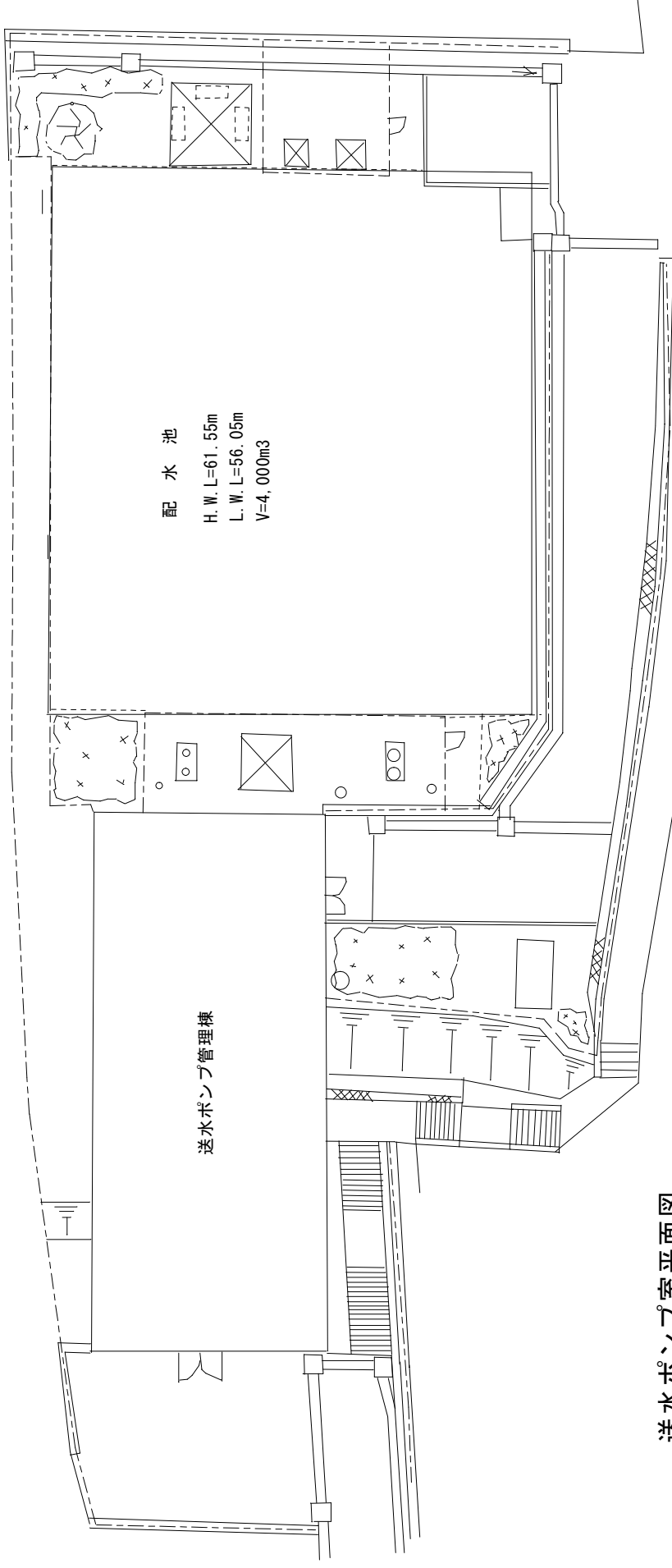
(3) 建設費用及び最近5年以内の施設等更新費用

当初：約 19億円

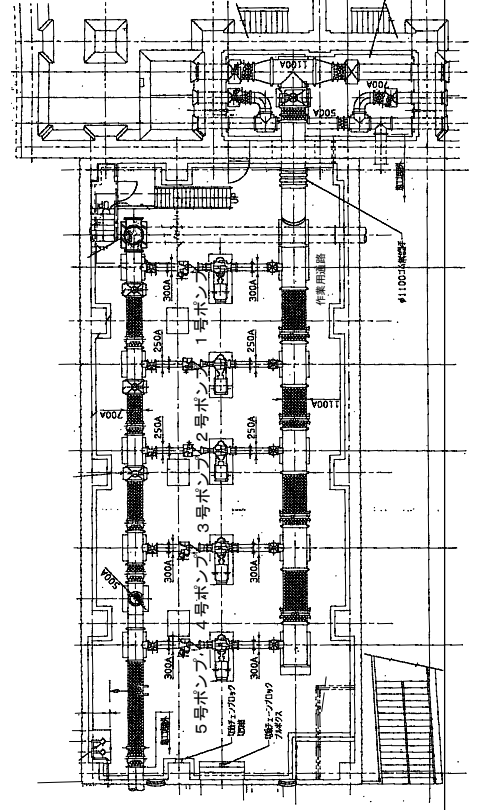
(4) 法定耐用年数及び更新時期

構築物、機械及び装置一体	水道用構築物の導水設備・配水設備	58年	平成69年
--------------	------------------	-----	-------

場内平面図



送水ポンプ室平面図



工 事 名	ニタ子送水ポンプ場平面図		
図 面 名	縮 尺	図面番号	
	1/250		
設計年月日	平成	年	月
課長	補佐	設計	日
神奈川 県 秦 野 市 水 道 局			

2 八幡山配水場

(1) 施設能力・設備

施設	<p>広畑配水場からの送水と自己水源7井(秦野田・尾尻端・前河原・向原・西大竹・後田・峰開戸取水場)を水源とし、本町地区への配水、及び金井場配水場に送水する設備を有しています。特に、幹線水系の中央監視制御の役割を担っています。この施設は配水と送水を兼ねています。</p> <p>配水池容量 4, 480 m³ RC構造 建物 地下1階地上2階 地下1階 ポンプ室 地上1階 自家発電室 電気室 地上2階 中央監視室 事務室</p>
電気設備	<p>高圧受変電設備、自家発電設備(ディーゼル375KVA)、ポンプ動力設備、監視計装設備、遠隔監視制御設備等</p>
機械設備	<p>送水ポンプ(190KW×3台 容量毎分11.9 m³/台)</p> <p>水運用状況(平成25年実績)</p> <p>取水 9,098 m³/日 配水 7,093 m³/日 金井場送水 12,889 m³/日 広畑受水 10,883 m³/日</p>
耐震診断結果	<p>配水地は、築造後42年が経過しており、経年によるコンクリートの劣化が見受けられます。耐震診断では、配水池(4,480 m³)は、水道施設耐震工法指針1997年版(公益社団法人 日本水道協会)に達しておらず、耐震対策が必要であるとの結果でした。耐震補強方法としては、コンクリート増し打ち工法が最良であり、その概算費用は約1,100万円が必要となります。</p>

(2) 竣工年

昭和47年

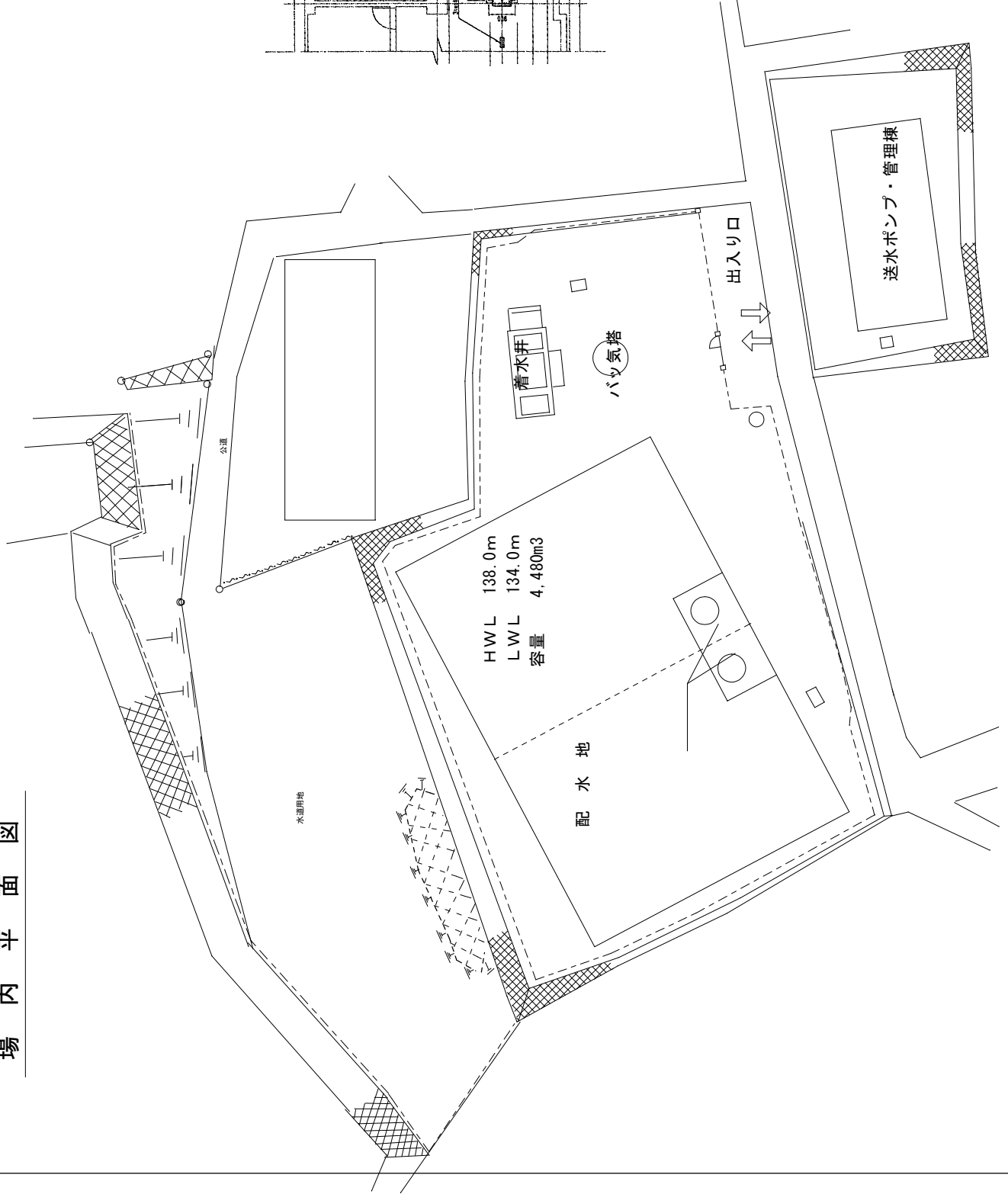
(3) 建設費用及び最近5年以内の施設等更新費用

当初：建設費用	約	3億2,000万円
平成23年：屋上耐水等更新	約	503万円
平成25年：遠方監視装置二重化	約	2,730万円
平成26年：高圧交流開閉器更新	約	154万円
平成26年：1号送水ポンプ更新	約	1,263万円

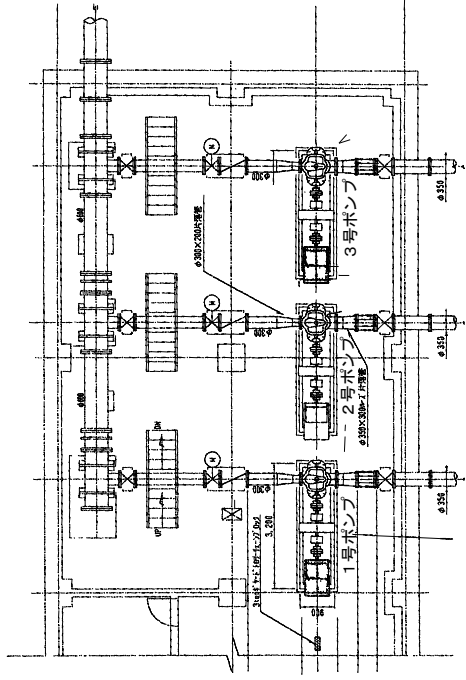
(4) 法定耐用年数及び更新時期

構築物、機械及び装置一体	水道用構築物の配水設備 58年	平成41年
--------------	-----------------	-------

場内平面図



送水ポンプ室平面図



工事名	八幡山配水場平面図		
図面名	八幡山配水場平面図		
縮尺	図面番号		
設計年月日	平成	年	月
課長	補佐	設計	日
神奈川県秦野市水道局			

3 堀山下浄水場

(1) 施設能力・設備

施設	<p>表流水を浄ろ過する設備を有した施設です。設備のろ過方式は、急速ろ過で、水無川の猿渡取水場と四十八瀬川の森戸下取水場からの表流水を水源としています。凝集沈殿剤により凝集沈殿と急速ろ過を行う市内で唯一の浄水場です。自然流下で配水するとともに、堀山下高区配水場及び堀山下低区配水場に送水しています。</p> <p>配水池容量 2,400 m³ (1,400 m³+1,000 m³) RC構造 2池</p> <p>浄水施設 沈殿池2池、フロック形成池1池、急速ろ過池8池、凝集沈殿剤注入施設</p> <p>浄水能力 6,450 m³</p> <p>管理棟 地上1階 自家発電室、次亜貯留室、次亜注入室 地上2階 管理室</p>
電気設備	<p>低圧受電設備、自家発電設備(ディーゼル100KVA)、ポンプ動力設備、ろ過池制御設備、監視計装設備、遠隔監視制御設備等</p>
機械設備	<p>高区送水ポンプ(11KW×2台 容量毎分0.6 m³/台) 表洗浄ポンプ(15KW×2台 容量毎分1.3 m³/台)</p> <p>水運用状況(平成25年実績)</p> <p>取水 4,023 m³/日 配水 2,325 m³/日 送水 1,650 m³/日</p>
耐震診断結果	<p>浄水施設及び配水池は築造後42年が経過しており、経年によりコンクリートの劣化が見受けられます。</p> <p>耐震診断では、浄水施設(沈殿池、ろ過池等)及び配水池は水道施設耐震工法指針2009年版(公益社団法人日本水道協会)に達しておらず、耐震対策が必要であるとの結果でした。耐震補強方法としては、コンクリート増し打ち工法が最良であり、その概算費用は浄水施設が約10,900万円、配水池は約4,000万円が必要となります。</p>

(2) 竣工年

昭和47年

(3) 建設費用及び最近5年以内の施設等更新費用

当初：建設費用	約	2億5,000万円
平成22年：ろ過地サイフォン管更新	約	6,122万円
平成22年：次亜塩素貯留タンク更新	約	630万円
平成24年：送水流量計更新	約	453万円
平成25年：浄水濁度計更新	約	212万円

(4) 法定耐用年数及び更新時期

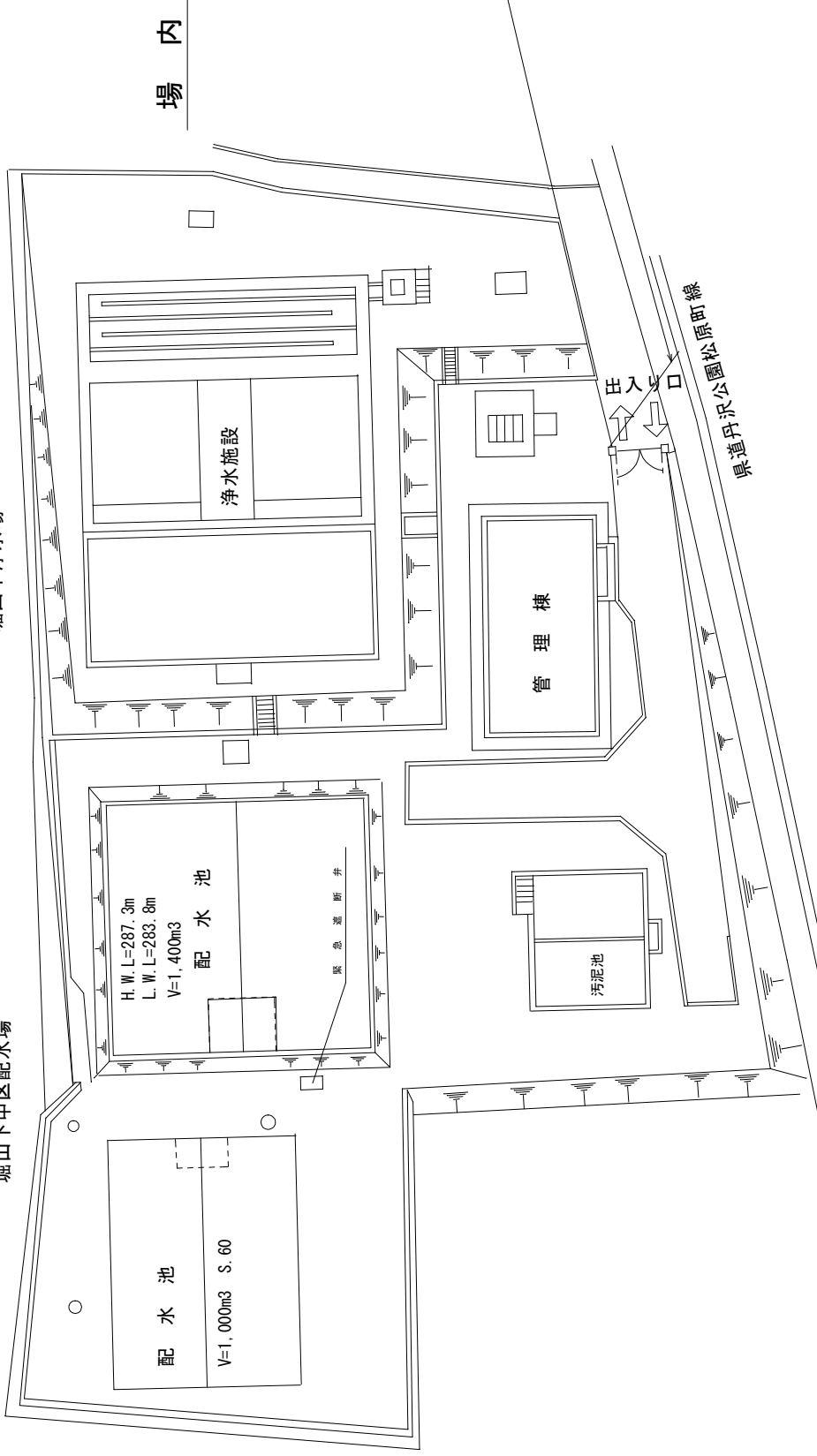
構築物、機械及び装置一体	水道用構築物の浄水設備 58年	平成41年
--------------	-----------------	-------



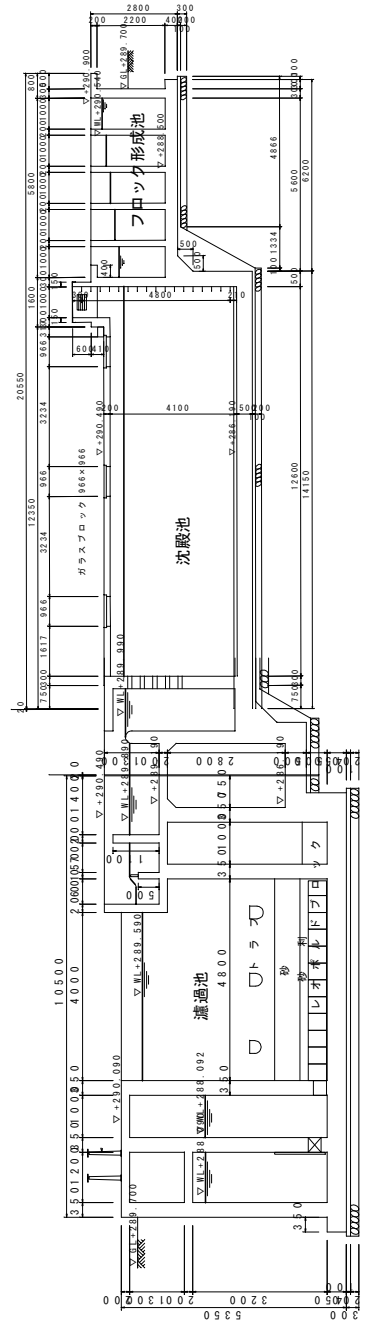
場内平面図

堀山下浄水場

堀山下中区配水場



浄水施設断面図



工 事 名	堀山下浄水場平面図			
縮 尺	図面番号			
設計年月日	平成	年	月	日
課長	技幹	設計		
神奈川県秦野市水道局				